

令和4年度事業報告書

当財団では、「地域の人々が活気溢れる社会、心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現」というミッション（使命）のもと、文化芸術に関する各種事業を積極的に推進することにより県民文化の育成と振興を図り、そして県民に広く文化活動の場を提供することにより自主的な活動支援、人と人の交流、地域の活性化を図ってきました。

また、近年、地域・社会が大きく変容し、文化芸術が地域及び社会における課題を解決する処方箋として社会的効用を発揮するという新たな重要性も増しているなかで、公立文化施設が果たすべき役割は、ますます重要になっています。とりわけ、新型コロナウイルスは、日常生活や催事等に多くの影響を及ぼしてきましたが、この新型コロナ禍においてリアルな文化芸術のもつ大きな効用が改めて認識されたことは、文化芸術に携わるものにとって大きな道標となるものであり、万全な感染防止対策を行いながら地域に文化芸術を届けていくことが重要です。

当財団は、改めて公立文化施設の役割を明確にし、その機能である「文化権の保障・文化芸術の振興・地域コミュニティの拠点・経済的貢献」を再認識し、その機能を十分に発揮するよう各種事業を展開していきます。

公1：文化芸術に関する各種の事業を推進することによる文化振興事業

当財団は、文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することで、自主的な活動を支援し、もって心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与することを目的としており、この目的を達成するために、「文化芸術事業の基本方針」に掲げる重要項目・事業体系を踏まえて、その実現のための各種取り組みを実践し、文化芸術事業を推進した。

また、「管理運営業務の基本方針」に掲げる重要項目及び上記を踏まえつつ、文化振興を図る拠点施設である鳥取県立県民文化会館の管理運営を行い、施設の設置目的や特性を活かした文化振興に関する事業を積極的に実施するとともに、県民に広く活動の場を提供した。

なお、施設の管理運営に関しては、指定管理者に指定されており、鳥取県と管理運営に関する協定を締結の上、これを遵守し業務を遂行した。

1 文化芸術の振興と創造・発信事業

県民が良質の舞台芸術に触れ、感動し、豊かな心を育むことを目的に、国内外の質の高い舞台公演の提供や、市町村との連携によるその地元施設での演奏会の実施、次代を担う若者の育成と文化芸術への参画の強化、鳥取県出身・在住のプロのアーティストを起用した事業など、これまで文化芸術にあまり縁の薄かった方々へのアプローチなど、多彩かつ広域に「ひと」と「まち」が元気になる事業を展開した。

また、鳥取県の特色ある地域文化を基に、地元活動者と協働してオリジナル舞台作品を制作することにより、鳥取県の特色ある地域文化と文化芸術の魅力を発信した。

(1) 鑑賞公演の提供（財団事業） 《観る》《触れる》《深める》 【決算額 35,648千円】

	事業名（公演名）	開催時期	開催場所	入場者数
1	大阪フィルハーモニー交響楽団鳥取公演 ※主催：(公社)大阪フィルハーモニー協会、(公社)日本オーケストラ連盟 共催：(公財)鳥取県文化振興財団	7月2日(土)	とりぎん文化会館 梨花ホール	688人
2	オーケストラ・アンサンブル金沢 境港公演 ※共催：境港市、境港市教育委員会	9月25日(日)	境港市民交流センター 市民ホール	469人
3	ストラディヴァリウス・コンサート2022 ※主催：(公財)日本音楽財団、(公財)鳥取県文化振興財団	10月10日(月)	倉吉未来中心 大ホール	938人
4	二期会オペラ「フィガロの結婚」 ※主催：オペラキャラバン・ジャパン実行委員会、(公財)東京二期会、 共催：(公財)鳥取県文化振興財団	10月15日(土)	とりぎん文化会館 梨花ホール	567人
5	小林愛実ピアノ・リサイタル	12月3日(土)	とりぎん文化会館 梨花ホール	838人
6	ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート 2023 ※主催：(公財)鳥取県文化振興財団、(公社)全国公立文化施設協会	1月9日(月)	倉吉未来中心 大ホール	627人
6事業6公演（東部3公演、中部2公演、西部1公演）				4,127人

関連事業：「オーケストラ・アンサンブル金沢 境港公演」プレ公演

事業名（公演名）	開催時期	開催場所	入場者数
オーケストラ・アンサンブル金沢団員による演奏曲や楽器、楽団の特色等の紹介、境港公演の演奏曲等に関するレクチャーと弦楽四重奏の実施 [講師] 本久仁雄（第1ヴァイオリン）、トロイ・グーギンズ（第2ヴァイオリン）、丸山萌音揮（ヴァイオリン）、早川寛（チェロ）	8月8日(月)	米子コンベンションセンター ホワイエ	76名 ※完売

**関連事業：「オーケストラ・アンサンブル金沢 境港公演」アフター事業
オーケストラ・アンサンブル金沢メンバーによる小学校アウトリーチ**

事業名（公演名）	開催時期	開催場所	入場者数
クラシック・日本の童謡の演奏、講師と先生（ピアノとヴァイオリン）の共演、講師と先生の演奏による児童の校歌斉唱ほか [講師] オーケストラ・アンサンブル金沢メンバー4名(弦楽四重奏)	9月26日(月)	米子市立和田小学校 体育館	全校児童90名 教職員 保護者

【特別共催事業（報道機関）】

	事業名（公演名）	開催時期	開催場所	入場者数
1	桂宮治独演会 ※主催：(株)新日本海新聞社	8月11日(木)	境港市民交流センター 市民ホール	621人
2	劇団四季「ロボット・イン・ザ・ガーデン」 ※主催：(株)新日本海新聞社	8月24日(水)	倉吉未来中心 大ホール	1,093人
3	高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト コンサートツアー 2022～2023 ※主催：(株)新日本海新聞社	11月13日(日)	倉吉未来中心 大ホール	1,425人
4	岡本誠司&反田恭平デュオコンサート2023 ※主催：(株)新日本海新聞社	3月1日(水)	米子市公会堂 大ホール	1,100人
4事業4公演（中部2公演、西部2公演）				2,814人

【特別共催事業（一般団体）】

	事業名（公演名）	開催時期	開催場所	入場者数
1	TOTTORI de petit 能 ※主催：(株)唐紅	7月16日(土)	とりぎん文化会館 梨花ホール	240人
2	トリオコンサート ～ヴァイオリン・コントラバス・ピアノによる競演～ ※主催：トリオコンサート実行委員会	8月6日(土)	米子コンベンションセンター 小ホール	107人
3	Alto de Campagne～ふるさとで奏でるヴィオラ四重奏～ vol.6 ※主催：Alto de Campagne	8月11日(木)	鳥取砂丘コナン空港 コナンホール	67人
4	第4回わっしょい米子祭り ※主催：Alto de Campagne	10月23日(日)	米子市公会堂 大ホール	609人
5	二つの歌 ※主催：WORLD MUSIC FRIENDS	11月20日(日)	鳥取市文化ホール	143人
6	モンゴル国立馬頭琴交響楽団米子公演 ※主催：(一財)米子市文化財団	12月16日(日)	米子市公会堂 大ホール	358人
7	現代邦楽の鬼才・船川利夫を讃えて ※主催：(一財)米子市文化財団	11月20日(日)	米子市公会堂 大ホール	460人
7事業7公演（東部3公演、西部4公演）				1,984人

**(2) プロデュース公演（県民文化会館指定管理事業）《観る》《創る》《触れる》《育てる》《伝える》
【決算額 16,464千円】**

ア 鳥取県文化振興財団プロデュース公演 《演劇》

鳥取県内18歳以下の若者が書き上げた戯曲を、同じく県内18歳以下のキャストが演じる演劇公演を制作し、上演した。

事業名（公演名）	開催日	開催場所	入場者数
U-18シアタープロジェクトAct2 「捨てきれないもの」 ※3回公演	8月6日(土) 7日(日)	とりぎん文化会館 小ホール	283人

【作者】北村真彩 (U-18)
 【出演 (U-18)】田中優芽、渡邊真央、土井彩花、佐藤杏、西根虎我、林大成
 【客演】岡田達也 (演劇集団キャラメルボックス)
 【音楽】安藤太亮 (U-18)
 【協力】小倉佳奈、山根明日美 (戯曲創作講座受講生/U-18)
 【戯曲監修】大和屋かほる
 【監修・演出】宮田慶子

【関連企画】

- 企画名：舞台美術製作体験企画
- 開催予定：令和4年7月16日(土)～18日(月・祝)
- 会場：とりぎん文化会館 小ホール
- 内容：県内高校演劇部員を対象に舞台美術製作の基本知識や技術を学ぶワークショップ
- 講師：根来美咲 (美術プランナー/劇団青年座)
- 参加者：延べ19名

イ 鳥取県文化振興財団プロデュース公演 《音楽》

平成28年度事業で立ち上げた「鳥取県クラシック・アーティストオーディション」受賞者及び若手弦楽演奏家等、国内外で活躍する県出身プロ奏者を中心に構成する『とっとりチェンバーオーケストラ』による第3回目となる弦楽アンサンブルコンサートを開催した。

事業名 (公演名)	開催日	開催場所	入場者数
とっとりチェンバーオーケストラ 第3回弦楽アンサンブルコンサート	11月3日(木)	倉吉未来中心 大ホール	303人

- 【プランニング・アドバイザー】西川彰一 (NHK交響楽団 芸術主幹)
- 【プログラミング・アドバイザー】門脇大樹 (チェロ奏者)
- 【監修】山田衛生 (鳥取県オーケストラ連盟副会長)
- 【出演者】山田美怜、湯浅いづみ、竹田詩織、棚橋恭子、門脇大樹、村岡苑子、神庭智子 ほか 計12名

【参 考】

年 度 ジャンル	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予定)
音 楽	(準備)	本公演	—	本公演	本公演
舞 踊	(準備)	(準備)	本公演	(準備)	(準備)
演 劇	(準備)	(準備)	(準備)	本公演	(準備)

(3) 芸術鑑賞教室 (県補助事業：芸術鑑賞教室開催事業) 【決算額 5,735千円】

鳥取県からの補助金を受け、芸術鑑賞教室の開催のための事務・事業の運営を行った。

ア 鳥取県芸術鑑賞教室 (高等学校・特別支援学校)

高等学校4校 (うち中高一貫校1校) 2,273人

イ 児童生徒を対象とした文化芸術事業

- ・伝統芸能：7校 1,085人
- ・演 劇：18校 2,061人
- ・音 楽：11校 924人

(4) 文化振興財団情報誌「アルテ」発行等情報発信 (県民文化会館の指定管理事業) 【決算額 3,916千円】

財団の文化芸術事業や取組、県内の文化芸術団体や青少年郷土芸能団体等の活動情報を県民に向けて発信し、広報による支援及び文化芸術のすそ野の拡大を推進した。

＜年4回発行：SUMMER/発行日7月20日、AUTUMN/発行日9月20日、
 WINTER/発行日12月20日、SPRING/発行日3月20日＞

(5) 鳥取県文化振興財団文化振興事業基金事業の実施 【決算額 5,138千円】

鳥取県からの基金造成事業補助金の交付を受け、県民の多様化、高度化する文化への志向に応え、県民文化の向上に寄与するため、鑑賞事業の実施経費等へ充当し活用した。

ア 県補助金収入 (10,400,000円)

令和4年度鳥取県立県民文化会館基金造成事業補助金 6,893,000円
 令和4年度鳥取県立倉吉未来中心基金造成事業補助金 3,507,000円

イ 基金の活用状況 (5,137,524円)

大阪フィルハーモニー交響楽団鳥取公演ほか、事業実施経費（共通経費含む）へ充当。

2 文化芸術活動支援及び人材育成事業

鳥取県の未来を担う若手活動者や若年層に対するプロデュース公演や鑑賞事業と連携したワークショップ等の継続的な実施による会館を拠点とした文化芸術のコミュニティの構築と、子どもや青少年をはじめ、年齢や障がいの有無、または経済的な理由いかんにかかわらず、誰もが芸術に触れ、気軽に楽しむことができる鑑賞や体験の機会の提供による将来の文化芸術の担い手としての裾野の拡大のほか、若年層や本格的な大ホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と連携して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、潜在的鑑賞者の掘り起こしと支援者の拡大を図った。

また、地域に根付く郷土芸能の伝承・発信・交流による技術向上と意識啓発、古典芸能の体験事業を通じ、古典を身近に触れることのできる機会を提供し、日本古来の伝統的な芸能の継承と発展を図った。

(1) 次世代育成事業（県民文化会館指定管理事業）

ア トライアート 《触れる》《育てる》《拡げる》 【決算額 814千円】

鳥取県の未来を担う若手活動者や若年層を対象に、鑑賞事業等と連動したレクチャー講座やワークショップを実施した。

(ア) レクチャー・シリーズ

催物名	開催日	開催場所	参加者数	内 容
なるほど♪クラシック 「はじめてのオペラ モーツァルトの傑作ラブ・コメディ『フィガロの結婚』」	9月23日(金)	とりぎん文化会館 小ホール	62人	「二期会オペラ『フィガロの結婚』」のプレ事業として、日本語で名曲を演奏し、オペラ初心者の方にもオモシロおかしく、親しみやすい切り口で見どころを解説。
なるほど♪クラシック 「死神とミューズ ～シューベルトの歌曲「死と乙女」の変遷～」	10月22日(土)	とりぎん文化会館 リハーサル室	24人	「とっとりチェンバーオーケストラ 弦楽アンサンブルコンサート」の演奏曲である「死と乙女」の作曲者シューベルトと編曲者マーラーの死生観が音楽にどのように反映されているかを解説。
合 計			86人	

(イ) 体験して深めるワークショップ〈音楽・舞踊・演劇〉

催物名	開催日	開催場所	参加者数	内 容
はじめてでも楽しめるオーケストラ！ 「大阪フィルハーモニー交響楽団 鳥取公演」レクチャー&リハーサル見学	7月2日(土)	とりぎん文化会館 第1会議室 梨花ホール	20人	大阪フィルハーモニー交響楽団のオーケストラマネージャーと指揮者(三ツ橋敬子)によるオーケストラや楽器、演奏曲等に関するレクチャーとリハーサル公開の実施。
「オーケストラ・アンサンブル金沢 境港公演」レクチャー&リハーサル見学	9月25日(日)	境港市民交流 センター 市民ホール	11人	県内の中・高校生と指導者を対象に、広上淳一氏による音楽に関するレクチャーとリハーサル公開の実施。
ウィーン・リング・アンサンブルメンバーによるワークショップ	1月9日(月)	倉吉未来中心 リハーサル室ほか	37人	県内吹奏楽部員を対象に「演奏する楽しさ・喜びを感じてもらおうこと」を目的としたワークショップを実施。
合 計			68人	

イ とっとり芸術宅配便 《観る》《触れる》《伝える》《拡げる》 【決算額 1,472千円】

オーディション（令和元年度開催）によって選考した、鳥取県にゆかりのある文化活動者（西洋音楽、民族音楽、郷土芸能、表現活動）を登録アーティストとして学校等に派遣し、子ども参加型の公演、体験型のワークショップなどを行った。

- 実施回数：14校19回、中止1校（台風によるもの）
- 実施ジャンル：西洋音楽、民族音楽、表現活動、郷土芸能、邦楽

ウ とっとり地域創造 《観る》《育てる》《伝える》《拡げる》《深める》 【決算額 580千円】

鳥取の未来を担う若年層や、本格的な大ホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と連携して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供し、潜在的鑑賞者の掘り起こしを図った。

(ア) とっとり地域創造ステージ

事業内容	開催日	開催場所	入場者数
八頭郡中学校文化連盟主催「八頭郡中学校文化発表会」へのTCOメンバー派遣	10月7日(金)	八東体育文化センター 遠見山アリーナ	210人
八頭町社会福祉協議会主催「地域共生にじいろフェスタ」へのTCOメンバー派遣	(大雪により中止) 1月28日(土)	八東体育文化センター 遠見山アリーナ	—

(イ) アーティスト発信ステージ

事業内容	開催日	開催場所	入場者数
江府町文化協会主催「ん？あり得ない！役場de音楽会」へのとっとり芸術宅配便登録アーティスト派遣	12月10日(土)	江府町役場 多目的室	67人

エ 若手クラシックアーティスト育成プロジェクト 《触れる》《育てる》 【決算額 1,195千円】

若年層を対象とした育成プログラムにて、若手弦楽活動者の技術や意欲をさらに育て伸ばす「スキルアップ」を目的にクリニックを実施する。弦楽アンサンブルクリニックでは、鳥取県出身・在住の演奏家で構成された「とっとりチェンバーオーケストラ」のメンバーを講師に迎え、県内の小学生～高校生の弦楽活動者を対象とした初級クラスと上級クラス分けを行い、2日間にわたって指導を実施した。

区分	開催日	開催場所	参加者数	内容
初級	①9月10日(土)	①倉吉未来中心 リハーサル室	4名 (見学4名)	[講師] 竹田詩織、湯浅いづみ、桑本ゆうき、 棚橋恭子、眞家利恵、時本野歩、 門脇大樹(10/8のみ)、神庭智子 [指導アドバイス] 山田衛生 [指導曲] 初級：春の小川／岡野貞一作曲 上級：交響曲第5番から第4楽章 「アダージェット」／マーラー作曲
	②10月8日(土)			
上級	①9月10日(土)	②成徳コミュニ ティセンター	6名	[指導曲] 初級：春の小川／岡野貞一作曲 上級：交響曲第5番から第4楽章 「アダージェット」／マーラー作曲
	②10月8日(土)			
	③10月30日(日)			
合計		③倉吉未来中心 大ホール	10名	

(2) 伝承・継承事業：古典芸能体験事業「梨花薪能」（県民文化会館指定管理事業）【決算額 6,380千円】

日本古来の伝統的な芸能の継承と発展を図るため、これまで財団としても取り上げることが少なかった「能楽」公演の実施、ワークショップの開催など身近に触れることのできる機会を提供し、地域独自の文化継承に寄与するとともに、その素晴らしさを広く県民に伝え、古典芸能への興味・関心を引き出すことを目指し、宝生流能楽師による能「葵上」、狂言「附子」のほか、鳥取県能楽連合会加盟団体による連吟、仕舞を披露した。

[本公演]

公演名	開催日	開催場所	入場者数	内容
古典芸能体験事業 「梨花薪能」	10月2日(日)	とりぎん文化会館 中庭特設能舞台	第1部 95名 第2部196名 計 291名	《第1部》鳥取県能楽連合会加盟団体による 連吟、仕舞 《第2部》宝生流能楽師による狂言、能

〔関連企画〕

公演名	開催日	開催場所	入場者数	内 容
はじめての能楽 ワークショップ	10月1日(土)	とりぎん文化会館 リハーサル室	10名	宝生流能楽師 山内崇生氏による能楽の解説 と体験

【参 考】「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」と「古典芸能体験事業」を交互に開催予定

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予定)
内 容					
開催種別	郷土芸能	古典芸能	郷土芸能	古典芸能	郷土芸能
開催地域	東部	東部	西部(中止)	東部	西部
開催内容	郷土芸能公演	体験型公演	郷土芸能公演	体験型公演	郷土芸能公演

(3) 実演芸術市町村連携事業 【決算額 602 千円】

本格的なホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と協働して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、新規鑑賞者に開拓、潜在的な鑑賞者を掘り起こし、地域の文化芸術の発展と地域の活性化を図った。

また、協働を通じて、事業実施に伴うノウハウを伝えるとともに、文化芸術事業への関心を高めることで、市町村独自の取組の充実に繋がった。

事業内容	開催日	開催場所	入場者数
琴浦町主催「カウベル合唱フェスティバル」へのTCOカルテット派遣	11月13日(日)	まなびタウンとうはく 多目的ホール	77人
琴浦町主催「ことらきっずコンサート」へのTCOメンバーほか派遣	3月26日(日)	まなびタウンとうはく 多目的ホール	98人

(4) とりアート実行委員会等事務局（県補助事業：第20回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2022）

【決算額 24,937 千円】

鳥取県からの補助金を受け、とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）開催事業の事務・事業の運営を行った。

ア 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局の運営

部会名	業務内容
事業部会	部会を3回開催し、今後の地区事業の企画内容や人材育成の方針について協議・調整を行った。
広報部会	部会を1回開催し、とりアート事業の広報内容を協議し、各種広報物の制作や新聞掲載等の広報を計画した。
役員会	役員会を1回開催し、各部会、委員会の進捗報告及び今後のとりアートについて協議した。

イ 鳥取県総合芸術文化祭東・中・西部地区委員会事務局の運営

事業名	開催日	開催場所	業務内容
とりアート2022 東部地区事業	11月26日 ～27日	とりぎん文化会館	委員会を11回開催し、「アートでつなぐココロのカタチ」をコンセプトに東部地区事業の実施に係る企画立案、及び運営・広報宣伝等について協議を行い、地区事業を実施した。
とりアート2022 中部地区事業	11月19日 ～20日	倉吉未来中心	委員会を9回開催し、「次世代育成」をテーマとした中部地区事業の実施に係る企画立案、及び新型コロナ対策等を含む運営・広報宣伝等について協議を行い、地区事業を実施した。
とりアート2022 西部地区事業	11月12日 ～13日	米子市児童文化センター	委員会を11回開催し、「いつものまちで文化する」をテーマに西部地区事業の実施に係る企画立案、及び運営・広報宣伝等について協議を行い、地区事業を実施した。

3 鳥取県立県民文化会館の管理運営事業（指定管理事業） 【決算額 316,736 千円（収1-1を含む。）】

豊かで特色のある県民文化の育成と振興に寄与する場として活用するため、鳥取県から指定管理を受け、鳥取県立県民文化会館の設置及び管理に関する条例及び鳥取県と締結した協定に基づき、施設の管理運営を行った。

また、管理運営とともに、財団独自に各種文化事業を行い、指定管理を受けている施設の賑わいの創出に向けた事業、教育機関との連携事業を実施した。

(1) 施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：60.0%）

ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関すること
- (イ) 利用の許可に関すること
- (ウ) 利用者の応接に関すること
- (エ) 管理状況の報告に関すること

イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関すること
- (イ) 利用料の収納及び還付に関すること
- (ウ) 利用状況の報告に関すること

(2) 地域の賑わい創出事業（決算額 3,271 千円）

ア 県民文化会館周辺賑わい事業

催物名	開催日	開催場所	参加者数	内 容
交流広場 Art Salon (アートサロン)	11月18日(金)	Art Place SUNABA COFFEE	16人	[出演] 棚橋恭子(ヴァイオリン)、畠山美智子(クラリネット) [内容] 鳥取市出身奏者による演奏と地元食材を使用したコース料理を味わいながら参加者同士の新たな出会いと繋がりを生む交流会。

イ ARTS FOR EVERYONE 『アート SQUARE 夢空間』

公演名	開催日	開催場所	参加者数	内 容
アート SQUARE 夢空間 vol.37 キラキラ♪たなばたコンサート	7月7日(木)	イベントホール	39名	[出演] トトリの森の音楽隊 ヴァイオリン：木田梨紗子、フルト：上田多美子、 ピアノ：平井真子 ゲスト：中島みちこ(打楽器) [内容] 普段コンサートに足を運ぶことが難しい未就学児（主に0～3歳）の親子を対象とした七夕に関連する曲の演奏と絵本の読み聞かせによるコンサート。
アート SQUARE 夢空間 vol.38 Tottori Art Square Sweets Concert	9月11日(日)	Art Place SUNABA COFFEE	29名	[出演] 竹田詩織(ヴァイオリン)、田尻順(ヴァイオリン) [内容] 県産フルーツを使用したオリジナルワッフルとコーヒーを味わいながら鳥取市出身奏者による演奏を気軽に鑑賞できるスイーツコンサート。
アート SQUARE 夢空間 vol.39 クリスマスファミリーコンサート[2回公演]	12月17日(土)	イベントホール	[1回目] 35名 [2回目] 35名	[出演] 中原美幸(ピアノ)、はまべゆかり(おはなし)、綿口裕美子(ピアノ)、湯浅いづみ(ヴァイオリン)、桑田蘭(打楽器) [内容] 普段コンサートに足を運ぶことが難しい未就学児（主に3歳以上）の親子を対象としたクリスマスに関連する曲の演奏とおはなしによるコンサート。
合 計			138名	

ウ とりぎん文化会館ホール探検ツアー

催物名	開催日	開催場所	参加者数	内 容
とりぎん文化会館 ホール探検ツアー	1月15日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール	① 31名 ② 35名 計 66名	1 ナビゲーターと巡る！ホール探検ツアー(施設見学) 2 なりきり！舞台技術スタッフ(操作体験) [出演] ナビゲーター：演劇ユニット小麦色4名 解説：舞台技術職員／舞台・照明・音響部門各1名

エ 梨花ホール レクチャーコンサートシリーズ vol. 4

「みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート」

[本公演]

催物名	開催日	開催場所	参加者数	内 容
梨花ホールレクチャーコンサートシリーズ vol. 4 「みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート」	1月28日(土)	とりぎん文化会館 梨花ホール	176名	3種のグランドピアノを用い、それぞれのピアノの特徴や歴史など解説を交えながら特有の音色、響きを楽しむレクチャー付コンサートに加え、地域の学生や一般の方との共演企画を実施。 [ナビゲーター]金子三勇士(ピアニスト) [演奏曲] ・バルトーク：オスティナート ・ベートーヴェン：エリーゼのために ・ショパン：仔犬のワルツ ほか

[関連企画]

催物名	開催日	開催場所	参加者数	内 容
梨花ホールレクチャーコンサートシリーズ vol. 4 「みんなのピアノ ファミリーコンサート」	1月27日(金)	とりぎん文化会館 リハーサル室	17名	本公演とは違った角度から、より近くでより分かりやすくピアノの魅力の触れてもらおう0歳から入場可能な親子向けコンサートを実施。 [出演] 金子三勇士 (ピアニスト)

(3) 教育機関連携事業 (決算額 199千円)

ア 高校演劇部に対する舞台技術研修会 (舞台技術支援)

開催日	開催場所	参加者数	内 容
5月5日(木)	とりぎん文化会館 梨花ホール	74人	舞台技術 (舞台・照明・音響) の解説及び実技を行った。

イ 舞台技術支援

区 分	件数	実施日	参加者・受講者等	内 容
教育機関関係	3件	4月9日(土)	7人(大学生)	鳥取大学地域学部の学生に対して、舞台技術解説と小ホールの施設見学を行った。
		5月17日(火)	20人(大学生)	鳥取大学地域学部の学生に対して、舞台技術解説と梨花ホールの施設見学を行った。
		12月16日(金)	25人(大学生)	鳥取大学地域学部学生の授業として、舞台技術研修会を梨花ホールと小ホールで行った。
文化活動者	1件	9月27日(火)	1人(大学生)	鳥取大学ダンスサークルの定期公演に向けて、小ホールで照明効果についての舞台技術研修を実技も含めて行った。
		9月29日(木)	16人(劇団員)	鳥取大学演劇サークル「劇団あしあと」の定期公演に向けて、小ホールで舞台技術の基礎に関する舞台技術研修を実技も含めて行った。
合 計	4件		69人	

(4) その他

ア (公社)全国公立文化施設協会中四国支部委員館

鳥取県の代表館として、支部委員会(年3回)、研修会(業務管理研究会、アートマネジメント研修会、技術職員研修会)、調査・研究のための部会(経営環境部会、事業環境部会、特別部会)に関する事など、各支部委員館と連携して適正かつ円滑に中四国支部の運営を行うとともに、当協会の副会長に関する業務を行った。

イ 鳥取県文化施設協議会会長館(事務局事務)

総会及び舞台技術研修会の開催、加盟館への情報提供など、当協議会に関する事務・事業の運営を行った。

公2：県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより、自主的な活動を支援し、人と人との交流、地域の活性化を図る事業

文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民に広く文化活動や交流の場を提供及び県民の自主的な活動を支援するとともに、人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため、鳥取県から指定管理を受け、鳥取県立倉吉未来中心の設置等に関する条例及び鳥取県と締結する協定等に基づき、施設の管理運営を行った。

また、管理運営とともに、財団独自に各種文化事業等を行い、指定管理を受けている施設の地域に根差した事業を実施した。

1 人と人との交流、地域活性化事業（倉吉未来中心の管理運営事業：指定管理事業）

【決算額 230,142 千円（収 1-2 を含む。）】

(1) 施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：55.0%）

ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関すること
- (イ) 利用の許可に関すること
- (ウ) 利用者の応接に関すること
- (エ) 管理状況の報告に関すること

イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関すること
- (イ) 利用料の収納及び還付に関すること
- (ウ) 利用状況の報告に関すること

(2) 未来つながるプロジェクト（決算額 2,788 千円）

ア ハッピースマイルコンサート

(ア) インリーチ編（倉吉未来中心にて開催したもの）

催物名	開催日	開催場所	来場者数	内 容
体験 EXPO SPRING ～いってみよう！ やってみよう！～	5月5日(木)	倉吉未来中心 アトリウムほか	計 208 名 ※2 回公演	[出演・講師] 西谷友里、恩部昂貴、岸本聖華、ドラマー ルがらがら☆どん [内容] 地元アーティスト（サックス2名・ピアノ）によるキッズコンサ ートとドラマーワークショップ等で構成した子ども向けイベント
体験 EXPO AUTUMN ～いってみよう！ やってみよう！～	9月18日(日)	倉吉未来中心 アトリウム 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール	計 177 名 ※2 回公演	[出演] トリの森の音楽隊、タソング スタジオジャム [内容] 東部地区を中心にご活動する社会人音楽家グループ によるキッズコンサートとダンス講師による身体表現ワークショップ で構成した子ども向けイベント
「第33回じどうか んまつり×ハッピ ースマイルコンサ ート」	10月16日(日)	倉吉未来中心 アトリウム	計 150 名 ※2 回公演	[出演] 打吹音楽倶楽部「レモンサングル、中央児童館「か さ踊りサクル」、高城児童センター「銭太鼓サクル」 [内容] 倉吉市児童館祭りとの連携企画として開催した 子ども向けイベント
「ハッピースマイ ルコンサート スペシャル」	2月23日(木)	倉吉未来中心 小ホール	計 270 名 ※2 回公演	[出演] 打楽器アンサンブル y`z [内容] 地元アーティスト（打楽器アンサンブル）による子ども向 けコンサート
合 計			805 名	

(イ) アウトリーチ編（館外に出向いて開催したもの）

催物名	開催日	開催場所	来場者数	内 容
ハッピースマイル コンサート in 琴浦町	12月25日	琴浦町赤碓 地域コミュニティセンター	計 84 名 ※2 回公演	[出演・講師] 桑田蘭、瀧禎子、小川智也 [内容] 地元アーティスト（打楽器アンサンブル）による子ども向けイ ベント
合 計			84 名	

イ みらい楽演祭

催物名	開催日	開催場所	来場者数	内 容
夏企画「～夏の夜風に誘われて～ヴァイオリンとピアノデュオコンサート」	8月19日(金)	倉吉未来中心 アトリウム	88名	[出演] 湯浅いづみ、山川智馨 [内容] 平日の夜企画として開催した地元アーティスト(ピアノ・ヴァイオリン)によるコンサート
秋企画「秋深し 未来を彩る トリオコンサート」	10月1日(土)	倉吉未来中心 アトリウム	130名	[出演] 岸本聖華、山下緋奈子、山内菜央 [内容] 地元アーティスト(ピアノ2名・リムバ)によるコンサート
ウインターバロックコンサート	2月19日(日)	倉吉未来中心 小ホール	74名	[出演] 時本さなえ、中嶋寄恵、井上玲、門倉佑希子、平出智子 [内容] 県出身アーティスト(ヴァイオリン・チェロ)を中心に、リコーダー・メサチェンパロ・木管奏者を迎えたバロック音楽コンサート
春企画「春うらら 未来を彩る デュオコンサート」	3月26日(日)	倉吉未来中心 アトリウム	133名	[出演] 西谷友里、岸本聖華 [内容] 地元アーティスト(サックス・ピアノ)によるコンサート
合 計			425名	

ウ 施設体験ツアー

催物名	開催日	開催場所	来場者数	内 容
みらいスペシャルステージ×たんけんショー	8月11日(木)	倉吉未来中心 大ホール	177人	中部地区を中心に活動する3団体のステージパフォーマンスを中心に、ホールの裏側やそこで働く職員の仕事、さらには大ホールのリニューアルイベントを紹介する演出を盛り込んだ、ショー形式のバックステージツアー

エ 舞台技術ワークショップ

回数	開催日	開催場所	参加者数	内 容
第1回	6月10日(金)	三朝町総合文化ホール	7名	開催施設の見学と音響・照明・ホール管理に係る基礎知識習得を目的としたワークショップの開催
第2回	8月4日(木)	琴浦町赤碕地域 コミュニティセンター	7名	
第3回	12月1日(木)	まなびタウンとうはく	5名	
第4回	2月16日(木)	倉吉未来中心	5名	
合 計			延べ24名	

オ イベント相談窓口

相談者	区 分	内 容
文化活動団体	舞台技術・施設利用	イベント開催に向けての舞台及び客席の設営方法、新型コロナ対策についての相談を受け付けた。
一般利用者	施設利用	イベントを開催するための施設利用方法、新型コロナ対策、助成金制度についての相談を受け付けた。
合 計	2件	

カ 舞台技術支援

区 分	実施日	参加者数	内 容
教育機関 (高校)	8月16日	10名	高校演劇部員向けに舞台・照明・音響の基礎講座を行った。
公共施設	12月26日	1名	ホール設備の保守点検についての資料・情報提供を行った。
教育機関 (短大)	1月20日	19名	建築やデザインを学ぶ学生の授業の一環として施設見学を受け入れ、ホールの設備や構造についての説明を行った。
合 計	3件	30名	

キ みらいアートギャラリー

気軽に美術作品を発表できる機会の提供と地域の多様な芸術に触れる場として、地域の活動者等に作品展示の発表機会を提供した。

(ア) 1階アートギャラリー

開催期間	作品展名	出展者名
8月23日～9月11日	版画家 野崎信次郎展	野崎淳
9月21日～10月30日	オサキヒデアキ作品展 沈黙の瞬間	オサキヒデアキ
11月1日～11月29日	とりアート2022 中部展示企画	鳥取県総合芸術文化祭中部地区委員会
12月1日～12月10日	障がい者アートの美術館	(株)ウェブプラン・プロモーション
1月5日～1月31日	上小鴨切り絵サークル作品展	上小鴨公民館切り絵サークル
3月19日～4月20日	やしろ版画同好会展	やしろ版画同好会

(イ) 2階アートギャラリー

開催期間	作品展名	出展者名
10月8日～11月6日	お地蔵さまのひとりごと展	藤原仙人掌
10月22日～10月30日	箕浦正 水彩画展	三浦恭子
11月23日～12月12日	第15回池田家墓所写真コンクール作品展	(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会
2月1日～2月28日	イラスト親子展	藤原由利

ク 館内インスタレーション

季節にちなんだ館内インスタレーションを行い、施設の賑わいを創出した。

催物名	開催日	開催場所	内容
七夕飾り	6月30日～7月8日	倉吉未来中心 アトリウム	恒例の七夕笹飾りを設置
クリスマス イルミネーション	12月1日～27日	倉吉未来中心 館内各所	恒例のクリスマスツリー・イルミネーションを設置

(3) その他

(公社)全国公立文化施設協会中四国支部の研修会の開催

中四国支部を代表して、加盟施設職員を中心に専門的な研修を行う「令和4年度地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会(中四国地域)」の開催館として研修会を実施した。

開催期間：1月19日(木)～1月20日(金)

会場：倉吉未来中心大ホール、小ホール

出席者：1月19日/24施設49人、1月20日/24施設43人

主催：文化庁・(公社)全国公立文化施設協会中四国支部

収1：鳥取県立県民文化会館及び鳥取県立倉吉未来中心の施設貸与事業(公益目的事業以外)

指定管理者として、鳥取県から委託を受け、協定書に基づき、県民が広く利用する公の施設の受託管理者として施設の管理運営を行い、施設の貸与について、文化振興に関する目的及び文化を通じた人と人との交流目的以外で、県民の様々な活動の場を提供する。

- 1 鳥取県立県民文化会館の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：40.0%
- 2 鳥取県立倉吉未来中心の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：45.0%

法人の管理運営

公益財団法人鳥取県文化振興財団の事務・事業の適正かつ円滑な運営を行う。 【決算額 10,581千円】

- 1 資産の管理に関すること
- 2 評議員会に関すること
- 3 理事会に関すること
- 4 事業計画、報告及び収支予算、決算に関すること
- 5 人事管理、給与関係事務に関すること
- 6 会計経理及び契約に関すること
- 7 関係機関との連絡調整に関すること
- 8 人材育成に関すること
- 9 その他、財団の事務処理に関すること

大規模改修工事等の概要

県民文化会館、倉吉未来中心の建物や各設備は、経年劣化による老朽化が年々進んでいることから、利用者の安全確保と、従来の利用形態にとらわれない多様なニーズに対応するため、優先順位を設定し、熱源設備（更新実施設計）、一般照明LED化、電気設備、自動制御設備、消防設備、AVシステム、屋根（防水）、舞台設備（音響・照明）、ホール床等の改修を計画的に実施した。

県民文化会館熱源機器改修については、令和4年度に実施設計を行い令和5年度の改修準備作業となるが、作業中はすべてのホールの空調ができなくなるため、ホール利用に影響のないよう中間季（令和6年4月～6月）での作業を計画している。

なお、各工事は鳥取県の予算により執行されるものである。

区分	工事種別	工期（予定）	備考
県民文化会館	熱源機器改修工事（実施設計）	令和4年6月～令和5年1月	改修工事は令和6年4月～6月を予定
	第5・第6会議室間仕切り改修工事	令和4年9月	
	揚水ポンプ改修工事	令和4年9月	
	防災監視パソコン更新業務	令和4年10月	
	照明LED化工事	令和4年11月～令和5年3月	
	ホール舞台音響設備周辺機器更新	令和4年12月～令和5年2月	
	ホール舞台照明DMX分配器更新	令和4年12月～令和5年2月	
	小ホールほか床改修工事	令和4年12月～令和5年3月	
	受変電設備改修工事	令和5年1月	
	排煙設備改修業務	令和5年1月～3月	
二酸化炭素消火設備改修	令和5年2月		
倉吉未来中心	高圧引込ケーブル更新工事	令和4年5月～11月	
	リモコン照明装置改修工事	令和4年5月～11月	
	アトリウム屋根防水工事	令和4年6月～令和5年3月	
	北側玄関軒天改修工事	令和4年6月～令和5年3月	
	中央監視装置改修工事	令和4年6月～令和5年3月	
	非常用発電設備分解整備	令和4年9月～令和5年3月	
	音声誘導装置更新	令和4年12月～令和5年3月	